

福岡医療短期大学

【所在地】

〒814-0193 福岡市早良区田村 2 丁目 15 番 1 号

【主な交通手段】

- ・地下鉄七隈線「次郎丸駅」下車、②番出口より徒歩約 8 分
- ・西鉄バス「福岡歯科大学前」下車（大学グラウンド方面に到着）徒歩 約 7 分、西鉄バス「歯科大病院」下車徒歩約 5 分、または西鉄バス「次郎丸団地」下車、徒歩約 8 分

《交通案内》 <https://hs.fdcnet.ac.jp/access>

【キャンパスの概要】

本学は、福岡歯科大学、福岡歯科大学医科歯科総合病院、福岡看護大学、介護老人保健施設（入所定員 85 人）並びに企業主導型保育事業による認可外保育所（べんぎん保育園）が同じキャンパス内にあるほか、社会福祉法人学会の設置する介護老人福祉施設（入所定員 100 人）が学園のキャンパスに隣接し、医療・保健・福祉を学べる、恵まれた環境となっています。

《校地・校舎面積》

区 分	校 地	校 舎
福岡医療短期大学	※共用 100,057 m ²	専用 7,905 m ² ※共用 26,535 m ²
計	100,057 m ²	38,112 m ²

※印は福岡歯科大学、福岡看護大学と共用

■教育・研究施設

・マネキン実習室・歯科診療実習室

専門教育におけるアクティブ・ラーニング型教育の推進により、ひと学年全員が一度に実習を行えるマルチメディア装置を備えたマネキン実習室と実習用歯科ユニット 35 台を設置した歯科診療実習室があり、両実習室ともにディスプレイで教員のデモンストレーションや教材を見ることができ、解りやすく丁寧な実習を行っています。特にマネキン実習室は、令和 3 年 3 月に文部科学省の助成を受け、全面改装を行い、個別のディスプレイを備えた実習台となり、より細やかな指導が可能となりました。さらに、歯科診療実習室も令和 5 年 11 月に採択された厚生労働省の補助事業の初年度整備として各ユニットに個別のディスプレイを設置し、教員のデモンストレーション等がより見やすくなりました。

・パソコン教室

平成 29 年 3 月に文部科学省の助成を受け、ノートタイプパソコンの導入、無線 LAN 環境整備を行い、アクティブ・ラーニングの学修形態に低学年から十分馴染ませるための基礎的訓練、事前事後学習に活用することを目的としています。また、全館に無線 LAN を敷設し、いつでも、どこでもアクティブ・ラーニングが行える環境を整えています。

・福岡歯科大学医科歯科総合病院（日本医療機能評価機構認定）

地域の中核的病院としての役割も担っています。

歯科各科をはじめ内科、外科、心療内科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科（ペインクリニック）、小児科、整形外科、皮膚科があり CT や MRI 等の画像診断装置も備えています。また、歯科と医科の多職種の医療スタッフが連携して、地域医療に貢献するため、平成 29 年 10 月に訪問歯科センター、11 月に内視鏡センターを開設しました。訪問歯科センターでは、往診による歯科治療や口腔ケアなどの口腔管理を行っています。内視鏡センターでは、内視鏡検査に加えて、内視鏡治療と内視鏡手術を行っています。歯科および医科それぞれの診療科が協力して全身的、総合的医療を展開するとともに、大学の臨床教育の場として全身疾患を広く学ぶ環境が整っており、学生は歯科と医科を横断的に学び「患者中心の医療」の現場を体験・実習していきます。

また、令和元年となる 2019 年に病院の建替え工事が開始され、令和 2 年 9 月 29 日に延床面積が現在の病院の約 1.5 倍となる新病院が開院しました。開院とともに健診センターを開設し、一般の特定健診、後期高齢者健診、よかドッグなどに加えて、口腔健診を含む全身の健診を行っています。

・情報図書館分室

短大情報図書館は福岡歯科大学情報図書館の分室として短大校舎 1 階にあり、受付、閲覧室、書庫等があります。令和 6 年 3 月現在で 11,586 冊の蔵書を保有。閲覧室の座席数は 48 席、視聴覚席 2 席、パソコン席 4 席。開館時間：平日 9：00～18：00

※このほか、本学学生は福岡歯科大学情報図書館、福岡看護大学情報図書館も自由に活用することができます。

大学情報図書館は学内無線 LAN を利用し、学内や病院内のどこからでも蔵書図書情報検索、オンラインジャーナル閲覧などが分室においても可能となり、学生のアクティブ・ラーニングによる学力と学習能力の向上が期待されます。

・福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 口腔医学研究センター

口腔医学研究センターは令和元年 10 月 1 日に設置されました。歯科大学本館 6 階にあり、次世代シーケンサーMiSeq や組織化幹細胞蛍光観察装置システムなどの先端的設備を擁しています。福岡学園 3 大学におけるこれまでの先進的かつ独自性の高い研究活動を一層推進・拡充し、ブランディング強化を図るため、「常態系」、「病態系」、「再生系」、「臨床歯学系」、「医学系」の 5 つの口腔医学プラットフォームを構築しました。それぞれのプラットフォームでは口腔の健康は全身の健康を守るという「口腔医学」のコンセプトに基づいた共通目標のもと、独自の先駆的研究に取り組むとともに相互の連携研究にも取り組んでいます。

■学生支援施設

・学生ホール・コミュニティホール

校舎 1 階の学生ホールは、テーブル・椅子や各種自動販売機が設置され、講義の合間の休憩などに利用されています。また、1 階には 120 人収容のコミュニティホール 1 があり、ホール内の売店では、お弁当やパン、カップ麺などの軽食や飲み物を販売しています。また、少人数教育を通じた学修成果の獲得向上および課外学修を含めた学習効果の充実等を図るため、コミュニティホール 1 には「可動式テーブルとチェア」、「教育音響システム」、「電子黒板」等を整備しています。このほか、2 階にはコミュニティホール 2 (90 人収容)、コミュニティホール 3 (60 人収容) があり、自習や休憩のスペースとして活用されています。

・いこいの広場

校舎北側に面する「いこいの広場」には、ベンチが設置されており、ランチをしたり、談笑したりできるくつろぎのスペースとなっています。春には満開の桜の下でお昼のお弁当を広げる光景も見られます。令和 2 年 2 月にベンチの新調等整備を行い、地域の方々もお花見等に利用されています。

・保健室

2 階の保健室には 2 台のベッドが設置され、体調不良の学生が利用できるようになっています。また、短大内では公認心理師・精神保健福祉士の資格を持つ教員による学生相談室を設置しています。

・福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 保健管理センター

令和 4 年 9 月、同年 7 月に完成した 50 周年記念講堂 4 階に保健管理センターが開設されました。相談室と応急処置の設備を有しており、学生および教職員の心身の健康管理を支援しています。

・RestaurantTOMATO (食堂)

福岡歯科大学本館 1 階にあった食堂が移転し、50 周年記念講堂 1 階にリニューアルオープンしました。400 以上の座席があり、開放的な空間の中で食事を楽しむことができます。

快適・安全な設備

・バリアフリー

校舎 1 階北側出入口は車椅子用のスロープになっており、自動開閉ドア、障がい者用のトイレを設置しています。また、1 階から 3 階まで椅子式階段昇降機があり、座ったままでスムーズに移動することができます。

・夜間警備

午後 8 時以降は、部外者や不審者の出入りを防ぐため、校舎の出入口はオートロックとなり、カードで開錠するシステムとなっています。監視カメラ設置や警備員の定期巡回と併せて防犯対策が強化されています。

【運動施設の概要】

グラウンドなど運動施設はすべて福岡歯科大学、福岡看護大学と共用です。

■グラウンド (22,040 m²)

野球場、サッカー・ラグビー場（夜間照明有）を有し、体育系部活の練習や試合等に活用されています。

■弓道・アーチェリー射場 (231.95 m²)

危険防止を重視した設計で、弓道やアーチェリーの公式競技にも使用可能な本格的施設です。

■体育部室 (867.2 m²)

部室棟にはシャワー室、洗濯室を完備しています。

【課外活動の状況】

課外活動は、主に福岡歯科大学の学生と一緒に活動しており、歯科大学生と共に活躍しています。学生生活をより充実したものにするクラブやサークルは、講義や実習時とはまた一味違う人間関係を広げてくれます。現在、福岡歯科大学は、学術文化部 5 団体、体育部 16 団体、短大内では「ダンス愛好会」が活動しています。

《福岡医療短期大学》**愛好会の紹介****●ダンス愛好会**

経験者だけでなく初心者も、ダンスが好きな学生が集まって楽しんでいます。大きな鏡を備えた練習部屋もあり、10 月の学園祭では舞台上でダンスを披露しています。学年問わずみんなで楽しめる部活です。

《福岡歯科大学》

https://d.fdcnet.ac.jp/campus_life/club/

【ボランティア活動】

- ・同一キャンパス内にある介護保険施設等で、様々な行事のお手伝いや利用者の方との交流を実施。
- ・地域のお祭り等の行事のお手伝いや地域の方との交流を実施。